

河



北

上ノ国町立河北小学校

TEL 55-2151

平成31年 3月26日

NO. 12

河北小学校教育目標

○考える子 ○助け合う子 ○やりぬく子 ○きたえる子

有言実行

校長 晴山 泰文

私が中学校で部活をしていた時の目標が「全道出場！」。ご存じのように、当時の檜山管内は今よりもずっとたくさんの学校がありました(私も檜山管内出身)。まずは町内大会。次に檜山大会。最後に函館地区。今よりも全道のハードルは高かったでしょう。

で、どんなに部活をがんばっていたか？ 実は「ぼちぼち」のレベル。中途半端もよいところで、全道なんてお呼びではありません。目標というより「希望」。または「はかない夢」、はたまた「一応、口にしてみただけ」。言っている自分が本当に行けるなんて思っていません。

以前、講演会で似たような話を聞きました。高校球児に目標を尋ねると、みんな「甲子園出場ッス」と答えるとのこと。まあ、確かに目標にしてはいるのでしょうか、なかなかそれに見合う練習になっていないことが多いそうです。

さて、河北小学校の卒業式が終わりました。式では卒業生が壇上で「警察官になりたい。世の中から犯罪をなくしたい」「保育士になりたい。そのために勉強をがんばる」などと決意を発表していました。私の「全道出場」に比べて、地に足がついた立派な決意です。自分の今を踏まえて、どう一步踏み出すかを具体的に述べている点が素晴らしいです。

卒業文集はこの原稿を書いている時点ではまだ目にしていませんが、きっとよく考えた将来の夢も書かれていることと思います。ちなみに私は「総理大臣」。ウケねらいの軽薄な小学生でした。「もし100万円もらったら？」には「貯金」と答え、こちらはあまりにも現実的すぎて興ざめです。

それでも、このごろはやっと大きなことは言わなくなりました。最近の目標は「遅刻をしない」。まずは、そこが基本と思っています。「総理大臣」も「全道出場」も、遅刻をするようなたるんだ気持ちでは絶対に無理。

継続した努力と卒業生諸君の活躍を期待しています。



